

# 東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトニュース “黄色いハンカチ”

【発行者】  
松戸・東北交流プロジェクト(代表:古宮保子)  
〒271-0092 松戸市松戸 1834- 5 小川ビル 2階  
TEL: 047-710-5519 FAX: 047-710-5546  
E-mail: yellowhandkerchief1834@gmail.com

## 【2017年度】～新たな事業への想いと設立時の理念の合作を求めて～ 代表 古宮 保子

東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトは4年目の活動に入りました。

5月23日2017年度総会が無事に終わりました。

今年度、右側に記載された役員で事業を運営してまいります。大震災から7年目に入り、支援される側と支援する側に分けることはお互い辛いことがあります。今回の役員構成はその思い「避難者と市民が一緒に事業に関わる」が反映されています。活動報告会に参加頂き、ご意見をお待ちしています。

自主避難者の住宅支援の打ち切り・帰還困難区域を除く殆どの地域で避難指示が解除されてしまいました。この案件については、他団体とも協力し引き続き活動をしていきます。昨年、始めて柏で交流会を致しました。この成果から、今年は、「出張交流サロン黄色いハンカチ」を定例化していきます。

今回、話し合われた内容は6月8日(木)黄色いハンカチ サポーターの集い(活動報告会)でお伝えします。まだ、申し込みしていない方も来てください。(サポーターになっていない市民・支援者も来場OKです。)

東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト 活動報告会

### 黄色いハンカチ サポーターの集い

皆さんの「力」を「黄色いハンカチ」にお寄せください!

今回の報告会は、東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト 交流サロン「黄色いハンカチ」へご支援いただいている皆さまに感謝の気持ちを届けるとともに、震災から7年目を迎える被災者・被災地の現状をご理解いただくことを目的に開催いたします。また、今後の当団体の活動の方向性を考える機会としても考えています。サポーターの皆様、引き続き東北に思いを寄せる皆様はじめ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

**1部 年次報告＆サロン特別講座**  
2016年度の活動を振り返ります。また後半はサロンでお馴染みの講座を特別授業します。(講師の紹介は裏面にあります)

**2部 昼食＆ワークショップ**  
～これからの活動とは～  
グループになってこれからのサロン活動・支援活動の在り方を話し合います。

**3部 コンサート**  
～復興への想いを歌とともに～  
<youth(ユース音楽家)>  
マロン・土橋剛さん ピアノ:和久深雪さん  
<プログラム>  
「糸」「風の丘」「オーヴェルシュア」など

日時:6月8日(木)10時～15時  
会場:松戸市民会館 301号室  
費用:500円(昼食代)  
定員:100名(先着申し込み順)  
申込:裏面の参加申込書を使ってFAXでお申し込み下さい。  
電話でも受け付けます。  
電話:047-710-5519  
FAX:047-710-5546  
締切:5月31日(水)

## 役員紹介

### 今年1年よろしくお願ひします!

	役職	名前		所属
1	代表	古宮保子	重任	市民ボランティア
2	副代表	高田良子	重任	福島県
3	副代表	渡辺洋子	重任	市民ボランティア
4	事務局長	奥田義人	重任	市民ボランティア
5	運営委員	兼松むつ子	重任	市民ボランティア
6	運営委員	川村めぐみ	重任	市民ボランティア
7	運営委員	菅野幸治	重任	岩手県
8	運営委員	佐藤利雄	重任	福島県
9	運営委員	勅使河原隆行	重任	学識経験者
10	運営委員	藤橋京子	新任	福島県
11	運営委員	細嶋千広	重任	市民ボランティア
12	運営委員	門馬正純	新任	福島県
13	監事	松崎正明	新任	福島県

## 新しい役員の方々



運営委員 藤橋京子さん

福島から避難した時、嬉しかったのは借上げ住宅に愛犬と同居できた事です。今後の災害時、動物と一緒に過ごせる施策が望まれます。



運営委員 門馬正純さん

先行くまわりの人に学びながら、今、自分のできることをみんなのために頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。



監事 松崎正明さん

千葉県市川市に避難中です。市川から黄色いハンカチまで1時間はかかりませんが、来ると仲間に会えて楽しみです。

## 避難者体験記

被災者の方に、3.11の貴重な体験を一人でも多くの皆さんに忘れて知って語り継ぐことで今後も起こりうるであろう大災害に対してどんな心構えができるのか?自分自身に問いかけて頂けたら幸いです。

「自主避難した。……最近、気づいた事は福島からの通信もアンケート調査もなくなりました。」自主避難者ではなく、ただの「流れ者」になった様だ。淋しくて、悲しくて、あとは笑うしかない。

「我慢できず」「被爆した故郷はもういやだ。汚染された水と食べ物もういやだ。行列するのはもういやだ。塞ぎ込んだ妻を見るのはもういやだ。」震災後一年住民でいたが、我慢できず

ゆるくでしょう。「あれから6年が過ぎた。それぞれの思いがあれども、何も変わる事なく朝は明けるのです。いつか時代が真実を消してゆくのでしょうか。」

なにもない農道の長い直線を走ると、突き当りにページジュ色の四階建ての市営住宅が、建っています。昭和40年代に建てられた。古い住宅です。近年ペンキを塗りかえたのか新しく見えます。その向かいに農民一揆で処刑された「三義民」の碑があります。悲しい史実があります。

「流されて」  
細谷秀雄 その3  
(福島県いわき市)

連載!  
私はあの時こうだった